

作成日：2012年07月01日

改訂日：2016年07月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報


製品名：シリケートガード (A液)
 会社名：ショーボンドマテリアル株式会社
 住所：埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門：品質保証課
 電話番号：049(225)5611 FAX：049(225)5616
 緊急連絡先：品質保証課 電話番号：049(225)5611
 整理番号：シリケートガードA液-01

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	分類対象外
健康に関する有害性	: 急性毒性 (経口) 急性毒性 (経皮) 急性毒性 (吸入: ガス) 急性毒性 (吸入: 蒸気) 急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変位原生 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) 特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) 吸引製呼吸器有害性	区分外 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分2 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	: 水性環境急性有害性 水性環境慢性有害性	分類できない 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 

注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 皮膚刺激
 重篤な目の損傷

注意書き 予防策

: 保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面 / 保護衣を着用すること。
 取り扱い後は良く手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。
 取り扱う前に、必ず「製品安全データシート」を読んで、注意して取り扱うこと。

- 対 応 : 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当を受けること。目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 暴露した場合：医師に連絡すること。気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- 保 管 : 容器を密閉し、換気のよい冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないように管理された場所で保管すること。
- 廃 棄 : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化 審 法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質 57 条 2
けい酸カルシウム	1-194	12168-85-3	0.1 以下	該当しない	該当しない

4. 応急処置

- 本製品の注意事項 : 本製品は、強アルカリ性を示すので、注意すること。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理にはかせないこと。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 本製品は不燃性である。周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器に散水して冷却し、容器の破壊を防止する。製品が溶け入った消火排水は、アルカリ性を示すため、中和処理が必要になる。
- 消火剤 : -
- 消火を行う者の保護 : 保護眼鏡、保護手袋、防護衣、ゴム長靴等を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護眼鏡等）を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
 大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- 除去方法 : 漏出した場所にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。少量の場合には、ウエス等で拭き取る。多量の場合には土壌等で拡散防止を計ってから、ポンプ等でドラム、タンク又はローリーに出来るだけ回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い :
 技術的対策 : 不浸透性の手袋、保護眼鏡等の保護具を用意し、直接手や眼等人体に触れないようにする。
 換気のよい場所で扱う。
 周辺で火気の使用、発生のないこと。
 作業終了後は、手洗い、うがいを十分に行う。
- 保管 :
 適切な保管条件 : 直射日光を避け、冷暗所に保管する。
 酸や酸化剤との混触を避けること。
 その他労働安全衛生法の法令に定めるところに従う。
 容器包装材料は、鋼鉄製又はポリ容器に保管する。アルミニウム、亜鉛、スズ、銅、鉛などの金属は腐食される可能性があるので使用してはいけない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。
- 許容濃度 :
 管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度 : 情報なし。
- 保護具 :
 呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク 送気マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 目の保護具 : 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的および化学的性質

- 物理的状態、形状等 : 液状
 色 : 無色、または、わずかに着色
 臭い : データ無し
 pH : 10~13
 密度 : 1.00~1.05/mg (20°C)
 融点 : データ無し
 沸点 : データ無し
 引火点 : 不燃性
 自然発火性 : 不燃性
 燃焼または爆発範囲 : 不燃性
 蒸気密度 : データなし
 溶解性 : 水には無限大
 オクタノール/水分配係数 : データなし
 分解温度 : データなし

10. 安定性および反応性

- 安定性 : 安定した物質であり、加熱による分解や燃焼、自然発火性はない。
 危険有害反応可能性 : 情報なし
 反応性 : アルミニウム、亜鉛、スズ、酸や酸化剤との混触を避けること。
 避けるべき条件 : 0°C以下及び高温での保管
 混触危険物質 : 情報なし

危険有害な分解性生物：情報なし

1 1. 有害性情報

急性毒性 経口：区分外
 経皮：分類できない
 吸入：分類できない
 皮膚腐食性・刺激性：区分2
 成分情報：眼及び気道を含むすべての身体表面ばく露に対し中程度の刺激性を示す記述、及び、ヒト皮膚に対して軽いまたは強い侵食性の刺激を示すとの記述があることから、区分2と判断した。
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分1
 成分情報：ヒト眼に対して軽いまたは強い侵食性の刺激を示す記述、及びウサギに対して侵食性の刺激を示す記述があることから、区分1と判断した。
 呼吸器感作性：分類できない
 皮膚感作性：分類できない
 生殖細胞変異原性：分類できない
 発がん性：分類できない
 生殖毒性：分類できない
 特定標的臓器毒性(単回暴露)：分類できない
 特定標的臓器毒性(反復暴露)：分類できない
 吸引性呼吸器有害性：分類できない

1 2. 環境影響情報

生環境急性有害性：分類できない
 水生環境慢性有害性：分類できない
 生態毒性：情報なし
 残留性／分解性：情報なし
 生体蓄積性：情報なし
 土壌中の移動性：情報なし
 オゾン層への有害性：情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。pHが12.5を超える廃アルカリは特別管理産業廃棄物に指定されており、収集・運搬・処分は、定められた基準に従って処理する。
 汚染容器等：内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送：労働安全衛生法等に定められている運送方法による。
 海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。
 国連分類：クラス8

国連番号：3262
 容器等級：Ⅱ

1 5. 適用法令

消防法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
労働安全衛生法 通知物質 57 条 2 (通知対象物)	: 該当しない
施行令第 1 8 条 名称を表示すべき有害物	: 該当しない
有機溶剤中毒予防規則	: 該当しない
化学物質管理促進法	: 該当しない
化審法	: 該当しない
海洋汚染防止法	: 有害液体物質 (Z 類物質) (施行令別表第 1)
船舶安全法	: 腐食性物質 (危規則第 3 条危険物告示別表第 1)
航空法	: 腐食性物質 (施行規則第 1 9 4 条危険物告示別表第 1)

1 6. その他の情報

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場の表示及び安全データシート (SDS): J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 2)
- 2) 製品安全データシートの作成指針 平成 1 8 年 5 月 (社団法人 日本化学工業協会)
- 3) GHS 分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料/製品メーカーMSDS

作成日：2012年07月01日

改訂日：2016年07月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：シリケートガード（B液）
 会社名：ショーボンドマテリアル株式会社
 住所：埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門：品質保証課
 電話番号：049(225)5611 FAX：049(225)5616
 緊急連絡先：品質保証課 電話番号：049(225)5611
 整理番号：シリケートガードB液-01

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分外
健康に関する有害性	: 急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 急性毒性（吸入：ガス） 急性毒性（吸入：蒸気） 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変位原生 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） 吸引製呼吸器有害性	区分4 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分1 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	: 水性環境急性有害性 水性環境慢性有害性	分類できない 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・目の薬傷
 飲み込むと有害

注意書き
 予防策

: 保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面 / 保護衣を着用すること。
 取り扱い後は良く手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。
 取り扱う前に、必ず「製品安全データシート」を読んで、注意して取り扱うこと。

- 対 応 : 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当を受けること。
目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
暴露した場合：医師に連絡すること。気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- 保 管 : 容器を密閉し、換気のよい冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないように管理された場所で保管すること。
- 廃 棄 : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化 審 法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質 57 条 2
けい酸ナトリウム	1-508	1344-09-8	25～35	該当しない	該当しない

4. 応急処置

- 本製品の注意事項 : 本製品は強アルカリ性である。また、酸と反応しゲル化するので、暴露の際には、中和は控え、洗浄を優先する。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理にはかせないこと。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 本製品は不燃性である。周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器に散水して冷却し、容器の破壊を防止する。製品が溶け入った消火排水は、アルカリ性を示すため、中和処理が必要になる。
- 消火剤 : -
- 消火を行う者の保護 : 保護眼鏡、保護手袋、防護衣、ゴム長靴等を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護眼鏡等）を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- 除去方法 : 漏出した場所にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。少量の場合には、ウエス等で拭き取る。多量の場合には土壌等で拡散防止を計

てから、ポンプ等でドラム、タンク又はローリーに出来るだけ回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い :
 技術的対策 : 不浸透性の手袋、保護眼鏡等の保護具を用意し、直接手や眼等人体に触れないようにする。
 換気のよい場所で扱う。
 周辺で火気の使用、発生のないこと。
 作業終了後は、手洗い、うがいを十分に行う。
- 保管 :
 適切な保管条件 : 直射日光を避け、冷暗所に保管する。
 酸や酸化剤との混触を避けること。
 0℃以下では凝固することがあるが、この場合加熱すると、元に戻る。
 その他労働安全衛生法の法令に定めるところに従う。
 容器包装材料は、鋼鉄製又はポリ容器に保管する。アルミニウム、亜鉛、スズ、銅、鉛などの金属は腐食される可能性があるので使用してはいけない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。
- 許容濃度 :
 管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度 : 情報なし。
- 保護具 :
 呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク 送気マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 目の保護具 : 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的および化学的性質

- 物理的状态、形状等 : 粘調性液体
 色 : 無色、または、わずかに着色
 臭い : 無臭
 pH : 10~13
 密度 : 1.30~1.33/mg (20℃)
 融点 : 0℃以下
 沸点 : 約 101℃
 引火点 : 不燃性
 自然発火性 : 不燃性
 燃焼または爆発範囲 : 不燃性
 蒸気密度 : データなし
 溶解性 : 水に任意の割合で溶解、アルコールに不溶
 オクタノール/水分配係数 : データなし
 分解温度 : データなし

10. 安定性および反応性

- 安定性 : 安定した物質であり、加熱による分解や燃焼、自然発火性はなく、水・空気との接触による反応性はない。

危険有害反応可能性：無機・有機酸と反応して、ゲルを生成する。重金属、アルカリ土類金属の各塩は、ケイ酸ナトリウムに作用して金属ケイ酸塩の水和物の沈澱を生じる。アルミニウム、亜鉛などの金属と反応して水素を発生する。

避けるべき条件：0℃以下及び高温での保管

混触危険物質：－

危険有害な分解性生物：アルミニウム、亜鉛などの金属と反応して、可燃性の水素ガスを発生する。

1 1. 有害性情報

急性毒性 経口：区分4
 成分情報：ラット LD₅₀ 1600mg/Kg マウス LD₅₀ 1100mg/Kg
 (NIOSH:1982-1983 Registry of Toxic Effects Chemical Substances)
 上記数値より区分4と判断した。

経皮：分類できない
 吸入：分類できない

皮膚腐食性・刺激性：区分1
 成分情報：人に対する影響として皮膚や粘膜を刺激する。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分1
 成分情報：目に入ると激痛がある。

呼吸器感作性：分類できない
 皮膚感作性：分類できない
 生殖細胞変異原性：分類できない
 発がん性：分類できない
 生殖毒性：分類できない
 特定標的臓器毒性(単回暴露)：分類できない
 特定標的臓器毒性(反復暴露)：分類できない
 吸引性呼吸器有害性：分類できない

1 2. 環境影響情報

生環境急性有害性：分類できない
 水生環境慢性有害性：分類できな
 生態毒性：TLm (Median Tolerance Limit、提供魚の50%が致死する濃度)として、次の報告値がある。
 淡水魚 (Gambusia affinis) 静的生物検定(急性) 48h 2400mg/L
 甲殻類 (Amphipoda) 静的生物検定(急性) 48h 263mg/L

残留性/分解性：情報なし
 生体蓄積性：情報なし
 土壌中の移動性：情報なし
 オゾン層への有害性：情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。pHが12.5を超える廃アルカリは特別管理産業廃棄物に指定されており、収集・運搬・処分は、定められた基準に従って処理する。

汚染容器等：内容を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送：労働安全衛生法等に定められている運送方法による。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類：クラス 8

国連番号：3266

容器等級：II

15. 適用法令

消防法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
労働安全衛生法 通知物質 57 条 2 (通知対象物)	: 該当しない
施行令第 18 条 名称を表示すべき有害物	: 該当しない
有機溶剤中毒予防規則	: 該当しない
化学物質管理促進法	: 該当しない
化審法	: 該当しない
海洋汚染防止法	: 施行令別表第 1 有害液体物質 (Y 類物質)

16. その他の情報

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえませんので取扱いには充分注意して下さい。
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場の表示及び安全データシート (SDS) : J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 2)
- 2) 製品安全データシートの作成指針 平成 18 年 5 月 (社団法人 日本化学工業協会)
- 3) GHS 分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料/製品メーカー MSDS